

米国 製造業部門のモメンタムは一段と強まる(07年6月ISM製造業景気指数)

発表日：2007年7月2日（月）

～新規受注、生産が牽引する形で景況感の高水準を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

ISM (the Institute for Supply Management) の推移

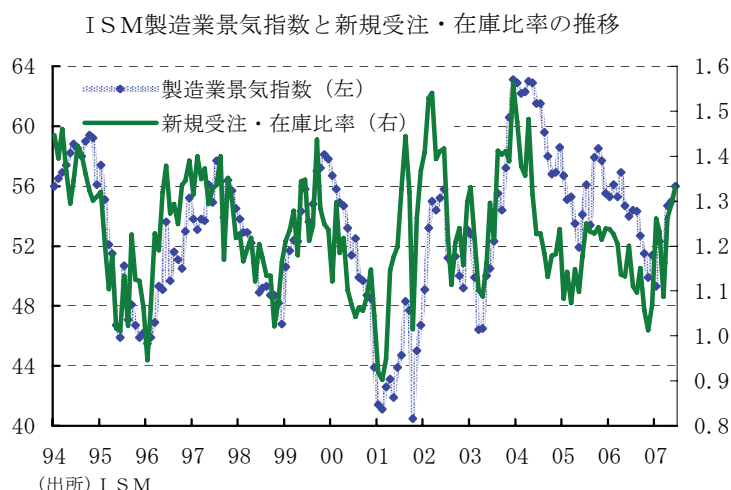
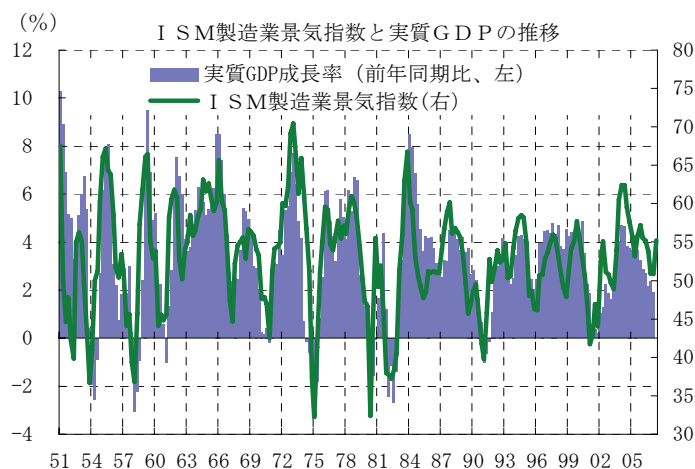
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
06/09	52.7	54.2	54.9	49.6	47.1	54.1	46.5	61.0	55.3	56.0
06/10	51.5	52.1	52.7	50.6	49.3	50.6	44.5	47.0	57.8	57.0
06/11	49.9	49.7	49.3	48.9	49.1	52.8	46.5	53.5	56.9	56.5
06/12	51.4	51.9	52.4	49.4	48.5	53.3	45.0	47.5	54.3	55.5
07/01	49.3	50.3	49.6	49.5	39.9	52.7	43.5	53.0	52.5	54.5
07/02	52.3	54.9	54.1	51.1	44.6	50.8	51.5	59.0	54.0	61.5
07/03	50.9	51.6	53.0	48.7	47.5	51.3	47.0	65.5	55.5	57.5
07/04	54.7	58.5	57.3	53.1	46.3	50.2	54.5	73.0	57.0	58.0
07/05	55.0	59.6	58.3	51.9	46.1	50.3	52.5	71.0	59.0	57.5
07/06	56.0	60.3	62.9	51.1	45.3	49.7	53.5	68.0	56.0	54.5

56.0と前月比1.0 ポイント上昇

07年6月のISM製造業景気指数は56.0と前月から1.0%ポイント上昇し市場予想の55.0を上回った。指数を構成する5項目では雇用、在庫、入荷遅延が低下したものの、新規受注、生産が上昇した（詳細は後述）。加えて、拡大した業種数は18業種中12業種（前月12業種）と前月と同数を維持した。

ISMによると6月の56.0という水準は実質GDPに換算すると+4.4%成長を示す。4～6月期平均で55.2と1～3月期平均の50.8（+2.8%成長）を上回っており4～6月期に実質GDP成長率が加速していることを示唆している。

ISM製造業景気指数は海外需要の好調持続に加え、在庫調整の進展により国内需要も拡大ペースを速めたことで、拡大縮小の分岐点である50を3ヶ月連続で大幅に上回った。さらに、ISM製造業景気指数に1、2ヵ月先行する新規受注・在庫比率は新規受注の上昇・在庫の低下によって上昇し、ISM製造業景気指数が上昇を続けることを示唆しており、製造業部門のモメンタムは再加速している。今後も製造業部門のモメンタムは在庫調整の終了に伴い上昇すると予想される。ただし、既に高い水準であること、今減速局面のボトムの水準が高かったことから、今後緩やかなペースでの上昇が見込まれる。

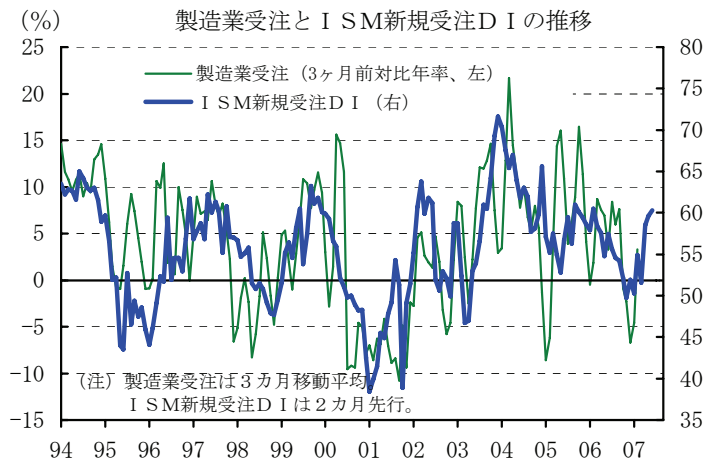
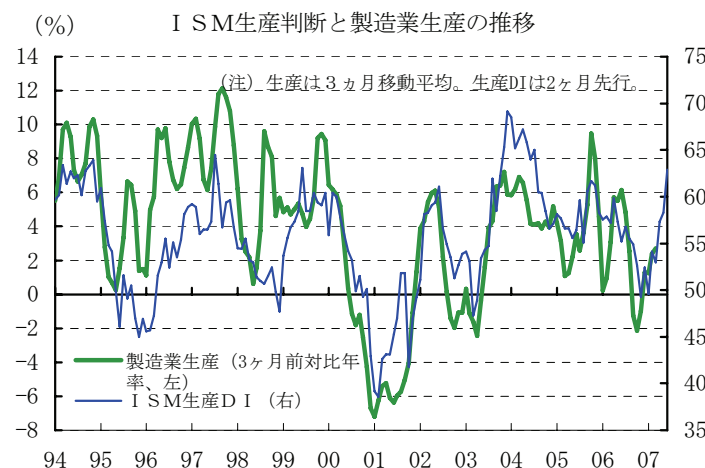


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

製造業受注のモメンタムは7月にかけて加速する公算

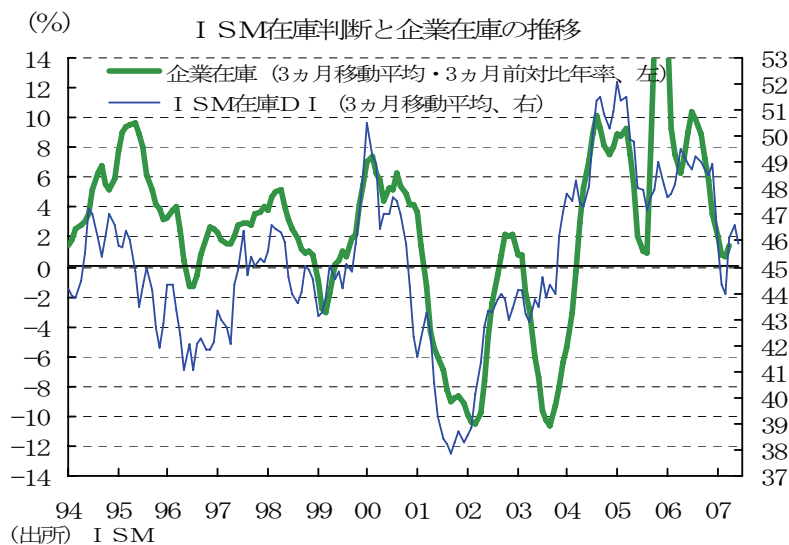
D Iを個別にみると、6月に生産D Iは前月から4.6ポイント上昇し、生産の拡大した業種数が12業種（前月9業種）と増加していることから、製造業生産（FRB）は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で8月にかけて上昇すると予想され、製造業生産のモメンタムは一段と加速するとみられる。

さらに、6月に新規受注D Iが前月から0.7ポイント上昇し、新規受注の拡大した業種数も11業種（前月9業種）と増加したことから、製造業受注（商務省、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）は5、6、7月とモメンタムの加速が見込まれる。



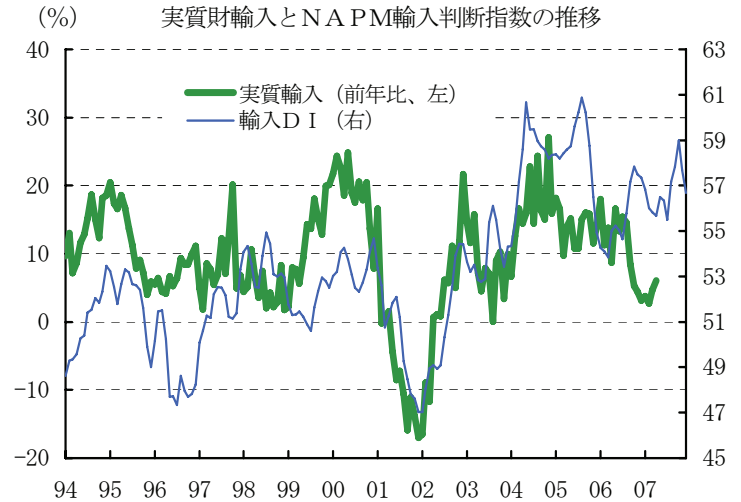
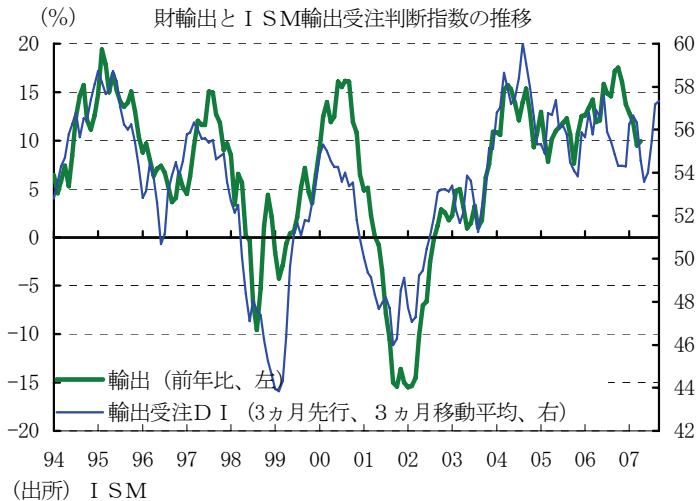
在庫の拡大ペースは緩やかなものになる公算

在庫面では、在庫D Iが45.3と前月から0.8ポイント低下し、在庫を増やした業種数も18業種中4業種と前月の5業種から減少した。加えて、新規受注と同時に在庫が増加する前向きな在庫の拡大が1業種（前月4業種）に減少したうえ、「受注が増加するなかで在庫の減少した業種数」が10業種（前月5業種）と前月から大幅に増加したことから製造業部門では在庫の積み増しに慎重な姿勢を強めている。



**貿易赤字は高水準
持続**

外需に関しては、通関統計ベースの輸出に「3ヵ月先行する3ヵ月移動平均の輸出受注D I」が2月から6月にかけて上昇しており、輸出（通関ベース）は5月以降拡大ペースを速めると予想される。一方、輸入D Iは54.5と前月の57.5から低下したものの高い水準を維持していることから、通関ベースでの輸入の高い伸びを示唆している。このため、貿易赤字額は高水準で推移する可能性が高い。



**製造業雇用の減少
ペースは加速する
公算**

雇用関連では、雇用指数が51.1（前月51.9）と低下し、雇用の増加した業種数も5業種（8業種）と減少しており、製造業雇用者数の減少幅（3ヵ月移動平均）が拡大することを示唆している。

**川中での物価上昇
圧力は間もなくピークアウトする可能性**

物価面では、商品価格D I（仕入れ価格）は6月に68.0と2ヶ月連続で前月から低下したことから、PPI（中間財コア）は3ヵ月前対比年率で6月にピークアウトする可能性が示唆されている。

